

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

- ・平成 20 年度調査研究報告会及び意見交換会開催 P 1～2
- ・都市再生整備計画策定研修会の報告 P 3～4
- ・第 7 回「都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会」が開催 P 4
- ・会員紹介 P 5
- ・機構の活動状況 P 6

《ハイライト》

- ・平成 20 年度調査研究報告会及び意見交換会開催
- ・都市再生整備計画策定研修会の報告

§ 平成 20 年度調査研究報告会及び意見交換会開催

恒例により、昨年 12 月 8 日（月）の 15：00～19：00 の日時で、アルカディア市ヶ谷に於いて、標記研究報告会及び意見交換会を開催いたしました。

当日は約 70 名の賛助会員の方々にご参加頂き、第一部の調査研究報告会では、私共が受託しております調査の概要についてご報告させて頂き、第二部の意見交換会では、国土交通省都市・地域整備局都市総合事業推進室長の清水様から、「まちづくりの最近の話題について」と題してご講演を頂いた後、日頃よりご指導頂いております同省幹部の方々にも多数お集まり頂き、公民によるフリーな意見交換をさせて頂きました。以下、その概要についてご報告させていただきます。



1. 調査報告会の部

最初に、当機構の佐々木専務理事から、「19 年度に受託した調査の全体概要」についてご報告させて頂きました。

(1) 受託調査を内容別に整理して説明

◇地域再生・交流 ◇地方都市再生 ◇大都市圏再生 ◇土地活用 ◇先導調査 を縦軸に、
□課題・構想 □基本計画 □事業計画 □機能導入 を横軸にしたマトリクス表により、受託調査を内容別に整理して説明いたしました。



(2) 受託案件一覧表により、個別案件の概要をご紹介します

① 国・都市機構からの受託案件

- ・土地活用バンクの活用・土地利用転換手法・即地的土地利用の実態・低未利用地の緑地等の効用等・提案事業の効果的活用・都市マネジメント・まちづくりの情報共有
- ・総合的まちづくり事業方策・外資導入による都市再生・近畿の地域活性化方策
- ・あすと長町立地誘導・大規模空閑地活用・盛岡バスセンター地区整備・東北圏の土地利用

② 地方公共団体等からの受託調査

- ・秋田駅周辺整備・新発田駅周辺整備・新潟駅周辺整備・鐘ヶ淵沿道整備・東久留米市産業誘導方策・鎌倉深沢地区整備の公民連携方策・沼津駅北地区整備
- ・豊田中心市街地活性化 ・大阪市海外プロモーション ・福岡市海外プロモーション
- ・普天間市米軍跡地活用 ・岐阜市中心市街地活性化 ・地域の担い手と連携方策

③ 民間・公益法人からの受託調査

- ・相模大野西地区整備 ・淡路町二丁目西部地区整備 ・大規模空閑地転用評価

次に、主な受託調査から下記4点を選んで、その詳細について、担当職員からご説明させて頂きました。

- (1) 土地の特性に応じた土地利用転換手法の検討調査 ・小野 開発調査部長
- (2) まちづくり目標の実現化方策に関する検討調査 ・森田 開発調査部調査課長
- (3) 地域の担い手との連携方策調査 ・富田 開発調査部調査課長
- (4) 普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査 ・稲岡 開発調査部部长

ご関心のある案件がございましたら、遠慮なく担当者までご照会ください。

2. 意見交換会の部

(1) 冒頭に、清水室長から以下のご講演を頂きました

① まちづくり交付金の概要説明

【骨子】 交付金の使い勝手の良さと目標管理義務

② 平成20年度予算と拡充内容

【骨子】 予算：2510億円、官民共同事業支援・複数市町村連携事業支援を強化。

③ 追加経済対策を受けた都市防災機能向上への活用

【骨子】 追加経済対策を受けて、災害に強いまちづくり支援を強化

④ H21年度制度改正による国策に関連した都市再生への支援強化

【骨子】 国の施策に関連した都市再生支援強化

- ・都市拠点の形成 ・中心市街地活性化 ・歴史まちづくり ・低炭素型まちづくり



(2) 交流会では、国土交通省都市・地域整備局の由木都市計画課長に来賓のご挨拶を頂いた後に、参加者による活発な意見交換が行われました。



§ 都市再生整備計画策定研修会の報告

都市再生整備計画策定研修会は、まちづくり交付金を活用し、地域の目標に沿ったまちづくりを効率的に推進することを目的として実施しております。

今回は、まちづくり交付金制度未実施の地方自治体職員を対象に、昨年10月～12月にかけて、全国9箇所まで延べ10回（関東のみ2回）開催し、約120団体の職員が受講されました。

【研修会開催日程】

開催地方	開催日時	開催地方	開催日時
東北	10/1～/3	北海道	11/19～/21
関東①	10/15～/17	四国	11/26～/28
北陸	10/22～/24	中部	12/3～/5
中国	10/29～/31	関東②	12/10～/12
九州・沖縄	11/5～/7	近畿	12/17～19

研修会では、受講者（まちづくり交付金未実施自治体職員）が、地域の目標に沿ったまちづくりを効果的に推進するため、都市再生整備計画（案）を策定するなど、研修は3日間連続で実施し、初日は学識経験者や国土交通省地方整備局職員を講師に迎え、まちづくり交付金の概要や留意点、まちづくりの成功事例紹介等の講義を行いました。



【学識経験者による特別講義】



【国土交通省職員による講義】

2日目は第3回まち交大賞受賞地区の職員を講師に迎え、先進都市事例紹介の講義を実施しました。その後演習に移り受講者は数名単位の班に分かれ、同じようなまちづくりに関する目標や課題を持つ自治体同士で活発な意見交換を行ない、都市再生整備計画の素案を策定しました。

3日目は各受講者が自らの都市の計画を発表し、他の受講者や専任講師からの質問、助言を受け参考にしていました。

受講者には事前・事後に提出課題を設定するな



【専任講師による講義】



【班内意見交換風景】



【受講者による演習成果発表風景】

どして、ややハードルの高い内容となりましたが、どの自治体職員も懸命に講義、演習に取り組み実り多いものとなりました。

今後は、受講者全員を対象に計画策定支援として、計画を策定する上での考え方の助言やまちづくりの成功事例の例示等を含めて、きめの細かい支援を行ってまいります。

また、当機構が管理・運営しております「まち交ネット（まちづくり交付金情報システム）」の『都市再生整備計画策定支援ページ（*）』では、都市再生整備計画に関する質問の受付・回答など、計画策定者に対する支援を行っております。

（*；URL：<http://www.machikou-net.org/shien/index.htm>）

§ 第7回「都市政策の基本的な課題と方向検討小委員会」が開催

国土交通省 都市・地域整備局
都市・地域政策課

1. 日時

平成21年1月15日（木）10：00～12：00

2. 場所

国土交通省（中央合同庁舎3号館）6階 局議室

3. 議事概要

荒井専門委員よりプレゼンテーション形式で意見を聴取した後、これまでの本小委員会での審議を踏まえた論点整理について議論されました。

論点整理では、都市政策に求められる変革や、重視すべき価値・考え方といった「今後の都市政策の基軸となる考え方」と、持続可能な集約型都市構造、安全なまちづくり、美しいまちづくり、都市と農村・農業の融合等の「今後の都市政策の方向」について議論されました。

4. 資料

国土交通省のホームページ（社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会、都市計画部会）に掲載されています。

URL：http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/city01_sg_000039.html





§ 会員紹介：株式会社日本都市総合研究所 「2つの特色／次の時代の都市整備に関する研究と都市デザイン」

都市への爆発的な人口集中がつづく昭和40年代。日本にまだ都市計画の専門会社が少なかった頃、丹下健三・都市・建築研究所で外国の都市設計プロジェクトを多く担当していた荒田厚、加藤源、鳥栖那智夫、松本敏行（故人）が独立し、日本都市総合研究所を作りました。

以来30余年、国内の主要都市整備プロジェクトの多くに参加し、また広域計画から都市の小空間の設計まで、都市及び地域に係わる構想・計画・設計に従事して参りました。

私たちの事務所の特色は2つあります。一つは、都市に関する重要課題に先行的に取り組み、次の時代の都市整備の方策は如何にあるべきかなど、都市整備に係わる施策等の調査・検討・提案に多く携わってきていることです。

もう一つは、地区の計画について、都市基盤施設整備と土地利用の連携を図りつつ、都市デザインや景観形成なども重視するコーディネーターとして、計画の実現に関与し、造り上げていく経験が豊富なことです。

官・公から民への流れは、他分野とともに、今後都市整備や街づくりにおいても重要な流れになっていくものと考えています。私たちの特色を活かしながら、エリアマネジメントなどまちの運営のあり方を探りながら、市民・住民参加のもとに美しい都市環境を実現していく、このようなことを目指して引き続き努力してまいります。

(株) 日本都市総合研究所

TEL：03-3230-3288

E-mail：toiawase@nihon-toshi.co.jp

URL：http://www.nihon-toshi.co.jp/index.htm

■ 次の時代の都市整備に関する研究

※景観法制定に向けた諸研究／景観法パンフ原画
(ドローイング：インタープランデザインセンター)



■ 都市デザインへの取り組み

※帯広駅周辺地区／区画整理、連立、地域交流センター、公園、駅前広場、沿道建物の一体的デザイン、デザイン誘導





§ 機構の活動状況

日	12月	日	1月
2	都市みらい講演会	8-9	普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査（意見交換会3回）
3-5	都市再生整備計画策定研修会 中部ブロック	8	東久留米市：新たな産業振興方策検討調査関係者会議
8	平成20年度調査研究報告会及び意見交換会	13	東久留米市長訪問
11	不動産プロフェッショナル国際マーケット会議（MIPIM） 日本ブース打合せ	14	不動産プロフェッショナル国際マーケット会議（MIPIM） 日本ブース出展者第4回検討会議
10-12	都市再生整備計画策定研修会 関東ブロック	15	中国地方整備局と意見交換
17-19	都市再生整備計画策定研修会 近畿ブロック	15	広島市と意見交換
19	普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査（意見交換会1回）	20	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会
25	普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査（意見交換会2回）	26	県民フォーラム（第5回）：普天間
25	東久留米市：地域産業振興協議会	27	普天間飛行場跡地利用計画策定推進調査（意見交換会4回）
26	(株)新日鉄都市開発とまちづくりについて意見交換		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

5	国土交通省打合せ（安全・安心まちづくり）	7	地下利活用幹事会
8	国土交通省打合せ（安全・安心まちづくり）	8	第12回 ACUUS 準備打合せ
9	八重洲分科会・幹事会	14	八重洲分科会世話人会
17	八重洲分科会・WG	20	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会
22	新たな地下利用像構築検討委員会大規模地下空間検討WG	21	黒川八重洲分科会長打合せ
		22	八重洲地下高さ調査ヒアリング
		23	土木学会地下シンポジウム
		27	新たな地下利用像構築検討委員会大規模地下空間検討WG
		27	大阪分科会

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

		20	都市みらい・地下研・UIT 合同講演会
--	--	----	---------------------

《まちづくり交付金情報交流協議会》

4	まち協議会活動アンケート（会員送付）	26	まち交大賞 北海道地方大会
		28	まち交大賞 近畿地方大会

(財)都市みらい推進機構

住所 東京都文京区音羽2-2-2
アベニュー音羽3階
電話 03-5976-5860
FAX 03-5976-5858
Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・まちづくり交付金事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援 他